

編集後記

関東大震災から 100 年、今の時代を皆様はどのように感じていらっしゃるのでしょうか？ パンデミック、ロシアによるウクライナ侵攻、発生確率が高まる海溝型地震、気候変動と豪雨災害の増加、硬直した社会構造とインフラの老朽化、停滞する国内経済と広がる格差、肥大しきった都市と加速する人口減少。安定していると錯覚していた時代は幻のように消え去り、この先をどう生き抜いていくのか、私たちは大きな岐路に立たされているのではないかと。1923 年の関東大震災から 100 年。これからの 100 年を展望し、今を考えるためにも、あの時代、あの災害を人々はどう生き抜き、生活を送り、復興し、新たな時代を築いていったのか、また災害は人間と社会をどのように変容させたのか、あらためて人間の復興として考えたいと思い、特集 1 を企画いたしました。どの執筆者の方々も超ご多忙の中、ご執筆・ご対応いただきました。武村先生はインタビュー形式とさせていただきましたが、学会誌「復興」としてもインタビュー形式はこれまでほとんどなかったと思います。ぜひ皆様の感想やご助言を頂ければと思います。特集 2 では「復興と倫理（続）」として、第 28 号に続いて「復興」を人文学的視点から再考する論考を寄稿いただきました。思考の粘り強さと細やかさを実感する文章です。どうぞお読みください。末文になりますが執筆者の皆さま方には心より感謝の意を申し上げます。

第 30 号 特集 1 編集担当：荒木裕子・小川知弘
特集 2 編集担当：高原耕平・石原凌河

学会誌編集委員会委員名簿

委員長	石原凌河	龍谷大学
副委員長	飯考行	専修大学
副委員長	荒木裕子	京都府立大学
幹事	大門大朗	福知山公立大学
委員	小川知弘	関西学院大学
	高原耕平	人と防災未来センター
	田中正人	追手門学院大学
	田並尚恵	川崎医療福祉大学
	辻岳史	国立環境研究所
	山崎栄一	関西大学
	山中倫太郎	防衛大学校

日本災害復興学会誌 復興 通巻 第 30 号 (Vol. 12 No. 1)

2023 年 9 月 11 日 発行

発行者 日本災害復興学会

事務局 〒662—8501 西宮市上ヶ原一番町 1-155

関西学院大学災害復興制度研究所 内

日本災害復興学会事務局 TEL. 0798-54-6996
